



秦野の木と わたしたち

～「もり」「さと」の取り組み～

もりとさと の両輪の好循環で木のある暮らし

森林

里山



▶ 間伐
森林の成長を促すため、一部の木を伐採し、過密となった林内密度を調整する作業です。



▶ 主伐
建築資材や木材製品として使用するため、成長した木を伐採する作業です。



▶ 製材
伐採した木の性質を見て、角材や板材など最も適した形状に加工する作業です。



建築資材・木材製品
山から切り出された木は、原木市場を経て、まちの製材所へ運ばれます。製材所では、住宅用の建材や集成材など様々な形に加工され、建築現場へと送られて行きます。



▶ 下刈り
植林した木が順調に育つよう、周りに生えた雑草や雑木を刈り取る作業です。



▶ 植林
苗木の植付けを行う作業です。植える前には下準備として地替え、植えた後には獣害対策として苗の保護を行います。

森林と秦野名水の関係
秦野市は県内で唯一の盆地で、地下にある「天然の水がめ」には、山からの水を蓄え、湧水が豊富なことから「名水の里」として知られています。平成28年に環境省が実施した名水百選選抜総選挙では、「おいさが素晴らしい名水」部門で全国1位に選ばれました。



森林の公益的機能
森林は、生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源のかん養、保健休養の場の提供など、極めて多くの公益的機能を有しており、私たちの生活と深くかかわっています。

▶ 里山まつり
木工教室、火起こし体験、シイタケの植菌体験や、地元農産物の販売、木工作品等の展示など、里山の魅力を楽しめるお祭りです。



加工 薪・ほだ木

観光資源 ナラ枯れ対策

▶ 観光資源・ナラ枯れ対策
病害虫により枯れてしまった木を伐採することで安全を確保するだけでなく、景色を良くして観光地としての魅力アップを図ります。



植樹祭

▶ 植樹祭
市民や地域の方と一体となり、毎年植樹活動を行っています。

里地里山保全ボランティア



▶ 里地里山保全ボランティア
市内には30以上のボランティア団体があり、里地里山の保全のほか、しいたけのホダ木や棚田の収穫など、様々な活動を行っています。

里山整備事業

小学生体験学習



▶ 小学生体験学習
児童が林業体験や見学会を通して自然とのふれあいを深め、森林資源の大切さを知ることが目的に体験学習を実施しています。

水道水はどこの水？
蛇口を開くと当然のように出てくる水ですが、そのもとをたどると、丹沢などの山々にたどり着きます。森林に降った雨水は、土壌に浸透し、地下水として蓄えられ、ゆっくりと流れて、川などを流れ速く離れた街にもきれいで美味しい水が届けられます。

こんなところに 秦野産材

丹沢の山々で育った木は、まちの様々な場所で活用されています。普段から利用されている方もそうでない方も、休日は秦野産材が使われている施設で、木のぬくもりを感じてリラックスしませんか？

くらしの中の 秦野の木

木材あるいは木造建築物には、人のストレスを少なくする、疲れにくくするなど、生理的な効果・身体的な効果があることや、室内の湿度を制御する、空気を浄化するなど、人が過ごしやすい環境づくりに効果があることが分かってきました。暮らしの中に木を取入れて、リラックスした毎日を過ごしませんか。

秦野の木ふれあいスポット

1 表丹沢野外活動センター




表丹沢の麓にある山岳・里山アクティビティの拠点施設です。秦野産材を使用して建築した約100人まで宿泊できる宿泊棟には、子供が楽しめるひのき玉プールを備えたぬくもり広場があり、ほかにも活動棟やキャンプサイト、バーベキュー場などで、様々な自然体験ができます。

表丹沢野外活動センター

〒259-1302 神奈川県秦野市菩提2046-5
☎ 0463-75-0725
🕒 9:00~17:00
📅 原則毎月第2火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始



2 里山ふれあいセンター




地域の林業者の活動を促進するとともに、森林や林業に対する市民のみなさんの理解を深め、林業の活性化を図るために設けられた施設です。自然や林業などに関する学習会を開く研修室や、木工体験ができる木工実習室、炭焼教室を行う炭焼窯・石窯等を備えています。

里山ふれあいセンター

〒259-1301 神奈川県秦野市羽根988
☎ 0463-75-1961
🕒 9:00~17:00
📅 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始



3 田原ふるさと公園



鎌倉幕府三代将軍、源実朝公の首が葬られたと伝えられている「源実朝公御首塚」をはじめ、周辺の金剛寺、大日堂など、中世の歴史を伝える史跡とめぐまれた自然の中にある公園です。「ふるさと伝承館」には、秦野産材を使用した販売休憩施設があり、近隣の方々の憩いの場所になっています。

田原ふるさと公園

〒257-0028 神奈川県秦野市東田原999
☎ 0463-84-1281
🕒 9:00~17:00(11月から2月は16:30まで)(ふるさと伝承館) 📅 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始



4 ヤビツ峠レストハウス



サイクリストや登山者をはじめ、山岳アクティビティの拠点となる観光施設です。カレーライス、豚汁、ソフトクリーム等の軽食やコーヒー、紅茶、クロモジ茶、ジュース等の飲料を販売するほか、市内特産品の物販も行っています。

ヤビツ峠レストハウス

〒257-0023 神奈川県秦野市寺山字鷹採1728-1
☎ 0463-73-5688
🕒 平日9:00~16:00 土日祝日8:30~16:30
📅 水曜日及び木曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始



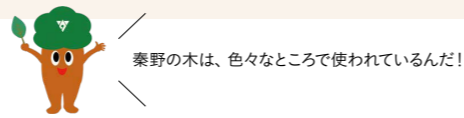
Colum



東京オリンピック・パラリンピック記念ベンチ
東京オリンピック・パラリンピックビレッジプラザで使用された木材を活用したベンチです。市内全公民館、メタックス体育館はだの、市役所に設置され、誰でも自由に使うことができます。



秦野市立西中学校 多機能型体育館
公民館の生涯学習機能や地域防災機能を備え、複合施設として整備された体育館です。体育館の天井や壁など施設の様々な箇所に秦野産材が使用され、あたたかみのある空間になっています。



私と秦野の木

秦野産材を活用されているハウスメーカーさんや家主の方に、秦野産材への想いや木を使うことによるメリットを伺います。



1989年に秦野で創業してから、地域密着型の企業として「秦野の人とまち、自然を建設でつなげる」をビジョンに、地域資源を生かしつつ事業を展開しています。
木は伐採してからも生き続けており、同じ気候風土で育った木は、その地域の家づくりに適しています。当社のお客様はその考えに共感してくれる人が非常に多いです。
これからも、地産地消を目指すとともに、秦野産のヒノキやスギの良さを市内外に広く発信していきたいと思っています。

地産地消で秦野の人とまち、自然を建設でつなげる
総合建築会社「コラムホーム」

秦野の木と暮らす人たちの声

interview 01



子供たちには木の温もりを感じながら健やかに過ごしてほしいという思いから木造住宅を選びました。地元の業者さんから有名な建物にも秦野のヒノキが使われたことを聞き、ぜひとも秦野の木を使って欲しいとお願いしました。

温もりを感じる木の住まいは、調湿効果に優れていて一年中快適で、子供たちは季節を問わず裸足で家中を走り回っています。

木の温もりを感じながら子供たちが健やかに成長していく様は何物にも代えがたいと思っています。

interview 02



木の温もりを感じながら生活したかった、というのが木造住宅にした大きな理由です。木の質感は予想以上のリラックス効果があり、家族全員、木に囲まれた暮らしに大変満足しています。

interview 03



家づくりに薪ストーブを取り入れましたが、空気そのものが温められるので、ストーブ一つで家全体が温かくなります。メンテナンスは必要ですが、秦野だと薪が手に入りやすく、木の香りや揺れる炎を見ているとリラックスできます。



秦野市森林組合
代表理事専務 **加藤 秀雄**さん

県内一の木材生産量を誇る秦野市森林組合の先頭に立って、水源の森づくり事業、森林経営に関する指導・森林の施業や経営の受託、森林保育に関する事業などを行っています。

Q. 秦野市森林組合の活動内容を教えてください。

森林組合は、山林所有者にかわって植樹、保全、伐採、運搬、販売を行い、所有者の利益確保を目的に活動しています。山林では、重機を使って大きく育った木を切ったり、一つ一つ手作業で木の苗を植えたりなど、様々な作業を行っています。また、建築材にならない傷がある木を薪にして販売するなど、従来の林業以外の分野にも取り組んでいます。

Q. 市民が参加できるイベントはありますか？

森林資源の一つである森林の空間利用を推進する動きが活発化しています。組合としても森林整備以外の活動にも取り組んで行く必要があると考えており、多くの方に森林・林業に関心を持ってもらうため、伐採現場の見学や伐採体験を実施しています。

Q. 森林組合としての今後の活動は？

伐採した木の7割は建築材として利用できないため、市場に出すだけでなく、自ら製材したり、薪にしたり、木質バイオマス燃料として活用するなど、材木に付加価値を付ける取組みをしていきたいと考えています。利益を生む仕組みにより、水を育み、二酸化炭素を吸収して酸素を放出する森林の持続可能な保全やSDGsにつなげていきたいと思っています。



秦野の木をつくる人、守る人



はだの里山保全再生活動団体等連絡協議会
ひだいまさひで **比田井 昌英**さん

市内にある約30の里山ボランティア団体を取りまとめ、団体同士の交流や研修会、市民とふれあう「里山まつり」などを行っている「はだの里山保全再生活動団体等連絡協議会」の会長であり、御自身も里山ボランティア団体で活動しています。

Q. 里山保全再生活動に参加したきっかけは？

秦野の里山林は、古くは薪炭林として様々な用途に利用されていましたが、薪や炭の需要が減るとともに荒廃が進んでいました。平成16年に環境省の里地里山保全再生モデル事業のモデル地域に秦野市が指定され、荒廃した里山を何とかしたいという機運の高まりが、近所の里山の手入れをする活動をはじめたきっかけでした。

Q. 秦野の里山に対する想いとこれからのビジョンを教えてください。

秦野市は「森林観光都市」を目指しており、里山保全はそのベースになると考えています。今後は里山ボランティア団体と行政が上手に連携して、ハイキングや森林セラピーなど、里山を活用した秦野市全体の里山活動に力を入れていきたいと思っています。

Q. 里山活動を継続していくための課題や取組みを教えてください。

里山ボランティア団体は高齢化が進んでおり、後継者の獲得が大きな課題です。そのためには、私たちの活動を知ってもらうことが重要で、市のHPやSNSを活用した活動配信を積極的に行っていきたいと思っています。また、「稼げる里山活動」になれば、より活動が活性化していくのではないかと考えています。

生涯を通じた秦野の木とのふれあい



乳幼児

ヒノキ玉
生まれた赤ちゃんへのお祝いとして秦野産ヒノキをボールの形に仕上げたヒノキ玉をプレゼントします。(令和7年1月から)



木のおもちゃ
幼少期から森林に親しみを感じ、豊かな心を育てることを目的とした「木育」の一環として、幼稚園やこども園に木のおもちゃを贈ります。



小・中学生

中学校卒業証書
秦野の木を思い出の一つとして新たな人生を歩んでもらうよう、義務教育を終える中学校の卒業式では、木の紙を使用した卒業証書を贈ります。



学習机
市内一部の小学校で、秦野産ヒノキを使用した机を導入しています。



成人

ペアコースター
結婚をした夫婦へのお祝い品として、秦野産ヒノキで作った間伐材ペアコースターをプレゼントします。(令和7年1月から)



丸太イス・ベンチ
公共施設等に秦野産材で作成したイスやベンチを設置し、子どもから大人まで多くの人に使用いただける空間づくりを行います。



高齢者

敬老祝品
長年ご活躍されてきた高齢者に対し、感謝の意をこめて、秦野産ヒノキで作ったお祝い品を贈呈します。



そうか。木をたくさん使うことが秦野の自然や水を守ることになるんだね。



※写真はイメージです

秦野市の取組み

▶ 里山ボランティア養成研修

里山活動に関心を持ち、新たに活動するボランティアの養成研修を毎年実施しています。研修では里山の説明や刈払機等の取扱い講習を受けるほか、実際に里山団体の活動に参加します。修了後は、団体に加入したり、育樹活動に協力して、様々な場面で活躍しています。



▶ 市民による森林づくり事業

平成22年に秦野市で開催された第61回全国植樹祭をきっかけに、市民・事業者の協働による森林づくりを推進し、自然を身近に感じることができる豊かな森林を次世代に健全な状態で引き継ぐことを目的に活動を進めています。「植樹・育樹・活樹」をスローガンに植樹活動や里山保全活動、間伐材の活用を推進しています。



イベント情報

詳細は、市ホームページをご確認ください。



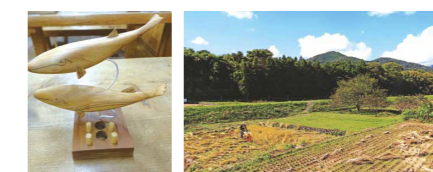
▶ 森林セラピー

森林セラピーとは、森林浴の癒しの効果、健康に導く力を科学的に解明したもので、心身の健康維持・増進、疾病の予防を行うことを目的としています。秦野市にはそれぞれに特徴を持った5つのセラピーロードがあります。資格を持ったガイドの案内のもと、五感を使いながら散策し、心身ともにリラックスしませんか。



▶ 木工・工芸作品展、里地里山フォトコンテスト

身近な森林・里山で取れた木材等を使用した木工・工芸作品や市内の里地里山を題材とした写真を対象としたコンテストを毎年開催しています。



▶ 上地区いなか暮らし体験ツアー

秦野市の原風景ともいえる里地里山に囲まれた上地区の魅力を地元の方と体験できるイベントを開催しています。里山散策や収穫体験、地元食材を使用した昼食など、豊かな自然とふれあい、のどかな田園風景で癒しを感じませんか。





発行：秦野市役所環境産業部森林ふれあい課（2024年3月）
〒257-8501 神奈川県秦野市桜町一丁目3番2号 ☎ 0463-82-9631